

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/7/22(月)

I サムエル記29章

●アキシュのダビデの評価(3、6節)、それに対するペリシテ人の首長達のダビデの評価(4-5節)は？

●ダビデは誰の手によってペリシテ人の地から脱出したのだろうか(9-11節)。

→サウルにまた遭遇する訳にはいかない苦境とアキシュを騙し続ける自分の良心への責めから彼を救い出されたのは、未信者であるアキシュであった。神様は、未信者である方も時に主の計画のために用いられる。

★(祈ろう)神様の計画が今日も前進していくため、あなたが備えられている全てのものが用いられますように。

2024/7/23(火)

I サムエル記30章

●ダビデたちがツィクラグに帰ると最悪のことが待っていた。どんな事態となっていた？彼の部下たちの反応は？

●ダビデが大変な苦境に立たされた時、何によってダビデは奮い立った？

●ダビデは神様のことばによって略奪隊に追いつき、全てを取り戻すことができた。そして戦勝品は仲間全員と分け合い、友人のユダの長老たちにも贈った。これは主が与えてくださった勝利だったからとダビデは受け取っていたからだね。

ダビデの信仰から励まされる場所はある？今神様が君を奮い立たせようとしている場所はあるだろうか？

2024/7/24(水)

I サムエル記31章

サウル王の結末がここに記されている。サウル王の使命はイスラエルをペリシテ人から救うことだったが、それを果たせずに死んでしまった。また、ヨナタンを始め息子たちやイスラエルの民も共に敗れて殺される結果となった。

サウルは自ら神様からの使命を放棄し、神様のことばに聞き従うことを軽視した王として記されている。

●考えよう
・私たちが救われたことには、神様のどんな期待があるだろうか？
・神様抜きで、聞き従うことなく歩もうとしているところはないだろうか？逆に、神様を中心とした歩みの祝福と恵みは何だろうか？

2024/7/25(木)

詩篇54篇

ダビデはいのちを狙われ、サウルから逃れるためにユダの荒野のジフに逃れていた。しかしジフ人たちはダビデのことをサウルに密告する(第一サムエル23:19)。

ジフの人々はダビデにとって見知らぬ者たちだったが、そんな彼らがダビデを滅ぼそうとしていた(3)。神を前にしていない人たちの悪意に私たちも傷ついたり悩んだりすることがあるかもしれない。君はそのような経験があるだろうか？

4節のダビデの告白を私たちの告白としよう。全ての苦難からあなたを救い出される神様に信頼して今日も歩もう！

2024/7/26(金)

詩篇55篇

ダビデは身近な友からの裏切りに会っていた(12-14v)。この詩篇ではそんな苦しみの中でダビデが何を祈り悟ったか、書かれているよ。

●ダビデはまず素直な気持ちを祈っているよ。それが分かる所を書き出してみよう。2, 5, 7v

●その後で神様に何をしたいか祈っている。それは何か？9v

●そして祈るうちに1つのことをダビデは悟った。22vを読もう。敵を裁くのは神様に委ね、自分は正しいことをするってこと。きみは人間関係がつかなくなることもあるかい？神様は支えてくださるよ。だから一緒に祈ろう。

2024/7/27(土)

詩篇56篇

今日の箇所はダビデがサウルから逃げて、前に倒したゴリヤテの故郷ガテに守ってもらおうとした時の、ダビデの祈りだよ。

敵である町に隠れようとしたら、もちろん危険もいっぱいだし、不安にもなるよね。だけど3節にあるように『心に恐れを覚える日』もダビデは神様を信頼することを選んだんだ。

10から13節をもう一度読もう！

神様こそが私たちの頼るべきお方であることを覚えよう！今、悩みや恐れしていることがあれば神様に信頼して、祈り、委ねてみよう！

2024/7/28(日)

詩篇57篇

サウルから逃れて洞窟にいるダビデには、たましいと身を避けることのできる方がいました。いのちの危険にさらされているときにこそ、人は絶対者である神様に頼り頼むことを学びます。

いのちの危険が迫る中でのダビデの関心は、神様の栄光が天でも地でもあがめられること(5、11)でした。彼の「たましい」は、敵により鋭い刃(槍と矢、剣)のようなことばが放たれ、巧みな罠が仕掛けられる中で、横たわり、うなだれ(4、6)、存在そのものが揺るがされるような中にありました。そのような中であって、揺るがない「心」で神様にほめ歌を歌うことができたのは(7)、彼が神様を信じていたからです。

祈り 神様あなたは天でも地でもあがめられる方です。私はあなたを信じます。